

第2学年 生活科 学習指導案

宮古島市立北小学校 教諭 多和田 美穂

1 単元名 「町たんけん2 –グループで出かけよう–」

2 単元の目標

- ・興味・関心のある地域の様々な場所の人・もの・ことについて見学したり、インタビューしたり、体験したりして探検することを通して、地域にある様々な魅力的なものやこと、それを支える人の営みや思いに気付くことができるようにする。(知識及び技能の基礎)
- ・地域と関わる中で見つけたことを振り返りながら、伝える相手や内容、方法を考えて表現できるようにする。(思考力・判断力・表現力等の基礎)
- ・地域の様々な場所の人・もの・ことについて親しみや愛着をもち、すすんで適切に関わりながら生活していこうとすることができるようにする。(学びに向かう力・人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領解説の内容「(3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」「(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。」に基づいて単元を構成する。そこで、内容構成の具体的な視点としては、「イ 身近な人々との接し方」「ウ 地域への愛着」「カ 情報と交流」を位置付けている。

本単元で行う「町たんけん」では、町のすてきを探す活動を中心にするすることで、より地域の人々との交流を深められるようにし、「町たんけん」を通して様々な「ひと・もの・こと」に出会い、その存在に気付いていくことができるであろうと考える。本学級の児童がこれまでに複数の単元を通して学習してきたSDGsに関する内容と、本単元で学習していく地域への親しみや愛情を関連付け、住み続けられる街づくり(目標⑩)の達成に向けた2年生なりにできることへの実践につなげていきたい。

(2) 児童観

本校区はさまざまなお店やホテル、公共施設などに囲まれ、たくさんの人たちと触れ合うことができる地域である。そこで、本学級の児童に「歩いて登校しますか。」と質問したところ、「いいえ」と答えた児童が12名もいた。このことから、校区ではあるが、通学路になじみがなく、その場所にある商店や施設にも興味を示さない児童がいることが分かった。そこで、グループで探検に出かける前に小単元「みんなで町へ出かけよう」の学習で、北小学校の校区を探検し、今まで見つかることのできなかつた地域の「すごい・すてき」を発見する活動を取り入れた。この活動を通して、子どもたちはさらに詳しく知りたい「人・もの・こと」について、興味・関心が高まってきている。また、一人ひとりの子どもが拡散的に興味・関心の対象を見つけて、友だちや教師との対話を通して、探検場所を練り上げてきている。子どもたちの知りたい・やってみいたいという気持ちを大切に

探検活動や発表活動に取り組んでいきたい。

SDGsの視点としては、児童はこれまでに複数の単元を通して学習を行ってきた。「生きものはかせになろう」の単元で、世界や宮古島の絶滅危惧種の現状を知ったり、「あそび名人になろう」の単元では、不要品をリサイクルしておもちゃづくりを行う中で、世界や宮古島のゴミの現状についても学んだりしてきた。そして、単元の最後には、「今、自分たちにできることは何だろう」、「2030年までにどのような宮古島になってほしいか」と考えてきた経緯がある。今回の「町たんけん2」の単元でも、2年生なりにできることを考え実践につなげていきたい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、大単元「町たんけん2」を二つに分けて指導を展開する。単元の前半では、まず、校区探検で見つけてきた「人・もの・こと」について、友だちや教師との対話を通して振り返る。次に、グループで話し合い、探検場所を練り上げ、もっと知りたいことややってみようを見つけ探検の計画を立てる。そして、実際に働いているところを見学したり、仕事を体験したりして調べることで、そこで働く人々の思いやその場所ならではの魅力について親しみを持たせていきたい。さらに、「町たんけん」を通して、町全体に対する気付きを広げ、自分たちの住んでいる町への親しみや愛着をもつことができるようにしていきたい。また、インタビューして分かったことや気付いたことをもとに、地域と自分たちの生活とのつながりにも気付かせていきたい。

単元の後半では、見つけたことや感じたことなどを工夫しながら伝え合う活動を行う。気付きを再確認することで、自分たちの住む町の様々な場所や人に対する理解を深めていけるようにしていく。そして、町のすてきを伝える活動を通して、相手に伝わる表現について工夫し、伝えたいことが伝わる喜びも味わわせることができるようにしていきたい。

本単元を通して、ICT機器を活用した活動も取り入れていく。そこで、タブレットを活用して探検で写真を撮ったり、選んで発表に活かす活動も取り入れていきたい。また、発表ツールとしてパワーポイントもあるということも、子どもたちに知らせ、今後の総合的な学習の時間につなげていきたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性・・・地域の様々な場所の人・もの・ことについて探検することで、地域の様々な場所の人・もの・ことと、自分たちの生活と密接につながっていること。

有限性・・・ずっとあるのが当たり前じゃない。地域にある様々な魅力に気付くだけでなく、それを支える人の営みについて知り、地域の人たちにとってなくてはならない大切なものであること。

公平性・・・自分には行かないから必要ない、ではなく、遠くまで買い物に行くことが難しい地域の人やその場所に愛着をもっている人たちが、利用しているということ。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力

自分の知りたいことについて、地域の人にインタビューして聞く。

他者と協力する態度

グループの友だちと一緒に町探検をしたり、探検したことの中から知らせたいことをポスター、紙芝居、劇、パワーポイントなど聞く人に伝わるようにまとめる

・本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正

自分たちだけでなく、高齢者や若い子どもなど、同じ時間を過ごすみんなが安心して過ごせるまちづくりが大切である。

人権・文化を尊重する

地域に住む人たちが皆、安心して過ごせるように努めなくてはならない。

・達成が期待されるSDGs

11 住み続けられるまちづくりを

5 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域には様々な場所があり、それぞれに意味や役割があること、また、多様な人々が生活していることに気付いている。</p> <p>②地域の様々な場所で働く人は、その場所を利用する人のことを考えて様々なことをしていることに気付いている。</p> <p>③地域の場所や人と関わると豊かに楽しく生活できることがわかっている。</p>	<p>①見つけたことを友達と交流し、各場所のよさや働く人の思いをとらえたり、どの場所にも共通する点を考えたりしている。</p> <p>②地域と関わる中で見つけたことを振り返りながら、伝える相手や内容、方法を考えて表現している。</p>	<p>①地域の様々な場所のよさやそれを支える人の思いを感じ、適切に関わりながら、自分の生活を豊かにしていこうとしている。</p>

6 単元計画（指導と評価の計画）〔18時間〕

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 評価方法（・） SDGsの視点（◆）
1 み つ め る ③	<p>○町へ出かけ、「知りたいこと」を見つける。</p> <p>・ブルーシールに行ってみたいな。</p> <p>・最近、仲宗根スーパーの近くに行ったから、また行きたいな。</p> <p>○北小学校のまわりにあるものについて考える。</p> <p>・ファミリーマート ・ホテル ・郵便局 など</p> <p>○そこでは、どんなお仕事をしているか考える。</p> <p>・いろいろなものを売っている ・観光客が泊まる</p>	<p>・クラス全員で学校の周りを探検したときの写真を掲示し、周りにあるものや人に気付くことができるようにする。</p> <p>・これまで見たり聞いたり体験したことを想起させる。</p>	<p>△ア① （知・技） ・ワークシート ◆③</p> <p>△ア②、③ （知・技） ・観察</p> <p>△ウ① （主体的） ・ワークシート ◆③、⑦</p>

	<p>○お家の人と「お家のSDGs」について話し合う。</p>	<p>・「お家のSDGs」について話し合いができるように、アンケートを持たせる。</p>	
2 調 べる ⑤	<p>○もっと調べたいことについてグループで計画を立てる。</p> <p>○グループで探検に行く。</p> <p>○探検で調べたことをまとめて、発表する。</p>	<p>・「町たんけん！」の写真や、子どもたちの経験から想起させる。</p> <p>・「すごい・すてき」を見つけたら写真を撮るように声かけをする。</p> <p>・探検で質問したことを、学級で発表する。</p>	<p>△イ①（思判表） ・ワークシート ◆②</p> <p>△ウ①（主体的） ・観察 ◆④, ⑦</p>
3 深 め る ⑤	<p>○町のすてきをみんなに伝える方法を考える。 ・ポスター ・劇 ・パワーポイント ・新聞など</p> <p>○発表会に向けて準備をする。 ・グループごとに発表のための準備を進める。</p> <p>○町のすてきを発表する。[本時] ・学校の人に向けて発表を行う。</p> <p>○今、わたしたちにできることを考える。 ・ゴミを拾う ・リサイクルをする</p>	<p>・「来てくれた人が楽しめる」「みんなが町のすてきを知って町を好きになる」という目的を掲示しておく。</p> <p>・子どもの表現活動が充実するよう、色画用紙や模造紙などの材料、活動中の写真などを事前に準備しておく。また、必要に応じてICT機器を使えるように支援する。</p> <p>・来てくれた人に、単元のまとめに向けて感想をもらえるように、アンケートなどを準備するとともに、協力を依頼する。</p> <p>・これまでの学習から考えることができるように、資料を提示する。</p>	<p>△イ②（思判表） ・観察 ◆③</p> <p>△イ②（思判表） ・観察、ポスターなど ◆⑤</p> <p>△イ②（思判表） ・観察 ◆⑦</p> <p>△ア③（知・技） ・ワークシート ◆②</p>
4 広 げ る ⑤	<p>○クラスで話し合う。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>・今後の取り組みへと発展させるために、家庭で話し合ったことを活用する。</p> <p>・クラスで取り組んでみたいことを話し合い、実践していく。</p>	<p>△ウ①（主体的） ・観察 ◆⑦</p>